

一般質問

発言者 茂木邦夫

発言の要旨(その1)
1 不登校支援と多様な学びの機会確保等について
(1) 先日の行財政改革推進委員会の外部評価においても、委員から改善の指摘があったが、どのように現状を分析しているのか。
(2) 国が実施するモデル事業に対する考え
(3) 不登校児童生徒が欠席中に行った学習の成果に係る成績評価についてが、文部科学省より発出されたが、今後どのように対応する予定か。
(4) 給食費支援金などの必要性を、どのように考えているか。
2 学校教育について
(1) 学校給食の牛乳が選択制であることの周知は、どうしているか。
(2) 学校給食において、牛乳にPFASが含まれていないことを、どのように教育委員会として保証しているか。
(3) 給食時に、いまだにテーブルをつけて一緒に食べられない学校もあると聞くが、おしゃべりや向かい合わせでの食事は可能か。
(4) 校則を見直すときに、子供から意見をアンケートで集めた場合、学校は丁寧に対応する必要があると思うが、今後どのように対応していくか。
(5) 教育委員会の会議の傍聴ルールが、他の附属機関会議よりも厳しいが、子育て世代も傍聴しやすいように見直しを検討できないか。
3 新型コロナワクチンの定期接種への慎重な情報提供と、インフォームド・コンセントについて
(1) いまだ過去に類を見ない健康被害認定件数についての見解
(2) レプリコンワクチンが、世界で一番最初に日本で使われる可能性があるが、どのような治験が行われ、科学的に有効性・安全性が高いとされているか、リスクとベネフィットの分析
(3) 今回のワクチンは、1本当たり幾らかかり、そのうち、国・高松市・接種者の負担額は幾らずつになるか。また、その料金割合なども含め、市民に周知する考え

発 言 の 要 旨 (その2)

(4) 泉大津市では、ワクチン自体の有効性に問題があることから、自治体としての費用補助をしていないそうだが、高松市としてはどのように考えているか。

(5) 本市における健康被害認定に関する情報を、個人情報に配慮しながら一部公開する考え

4 放課後児童クラブについて

(1) 夏季休暇中に昼食の弁当提供が開始され、何度か変遷もあったと聞いているが、その経緯。また、注文件数や全体に占める割合の推移。加えて、お弁当への保護者の満足度を、注文した人、していない人それぞれからアンケートで集める考え

(2) 高松市中小企業基本条例に照らしながら、今後、地元事業者や地元食材の活用も含めて、夏休みの弁当提供についてシダックスと交渉する考え

(3) この夏の高校生や大学生のアルバイトそれぞれの採用人数。また、採用時に放課後児童クラブの運営指針や虐待防止や子供の事故防止研修を、丁寧に行えているか。

(4) ICT連絡ツール——ハグノートを令和6年6月までに導入して、支援員の事務を効率化すると約束しているが、いつ開始できるか。

(5) 現場からの問合せや相談に適切に対応するよう、今後もシダックスとの定期ミーティングの中で、市として申し入れる考え

(6) 東かがわ市の受託事業で、虐待と思われる事案が発生しているが、市としての状況の把握と今後の対処や研修

(7) シダックスが会社として、スキマバイトを募集している事業所があることを、本市として説明を受けているか。また、本市クラブでのスキマバイトの募集はないか。

5 子供の自殺対策について

(1) 第1期高松市自殺対策計画の、数値目標の結果への受け止め

(2) 第2期高松市自殺対策計画における、目標達成に向けての取組

(3) 教育現場における自殺予防教育は、どのように取り組んでいるか。

発 言 の 要 旨 (その3)

6 養育費確保支援事業の周知啓発について

離婚届を提出した時の市民課の窓口や、児童扶養手当の申請をした際のこども家庭課の窓口等で、独り親に寄り添うような養育費確保に関する案内を検討する考え